

あの災害を忘れない 平成23年7月新潟・福島豪雨災害から10年 「あいつの今」

福島県会津地方振興局

平成23年は福島県にとって未曾有の大災害の年であった。1つは3月11日の東日本大震災とその後の原子力災害、もう1つは7月末に発生した新潟・福島豪雨災害。

新潟・福島豪雨災害は、只見川沿線を中心に大きな被害を受けた。特に、只見線は橋りょうの流出や土砂崩れによる線路の崩壊などにより、会津川口・只見駅間は、被災から10年近くが経過する現在でも不通となっており、バスによる代行輸送が続いている。

今年7月には、新潟・福島豪雨災害から10年を迎えることから、豪雨災害の記録と復興の「今」を広く発信するために、以下の取り組みを行う。

- 「新潟・福島豪雨災害」パネル展
会津・南会津地域の道の駅、JR会津若松駅などに被災状況と復興の「今」を展示する。
- ツアーの催行
県民が復興状況を見て回ることができるツアーを共催。
- シンポジウム
只見線全線開通50周年記念、令和4年度の復旧工事完了を祈念したシンポジウムの開催。

主催：会津地方振興局、会津若松建設事務所、会津農林事務所、喜多方建設事務所、南会津地方振興局、南会津建設事務所、南会津農林事務所

共催：JR東日本、東北電力、福島県只見線再開準備室、会津若松市、喜多方市、下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町、北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町、只見川電源流域振興協議会・奥会津五町村活性化協議会、電源開発株式会社、公立大学法人会津大学

後援（調整中）：福島民報、福島民友、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ラジオ福島

事業のストーリー

- 新潟・福島豪雨災害の概要をパネルやツアーで情報発信
- 豪雨災害からの復旧・復興に向けた取組をパネルで情報発信
- 災害の教訓（今後に備えて）をパネルで情報発信
- 豪雨災害からの復興のシンボルである只見線について、令和4年の再開通に向け、また、アフターコロナを見据えた奥会津の地域振興につながるよう、会津地域への観光誘致策等についてパネルディスカッションにより考察

パネル展の概要（案）

◆ 内容

①災害の概要、②復旧・復興の現状、③災害に備える、の3つのテーマでパネル展示を行う。

◆ 展示時期

令和3年7月17日（土）～9月15日（水）まで

◆ 展示場所

・会津・南会津17市町村ごとに1カ所（道の駅等）を展示場所とし、1週間～10日単位で移動しながら、リレー方式で実施

※展示期間中常設が可能な場所については移動せずに常設（JR会津若松駅等）

・キックオフ（7月17日）：只見振興センター（調整中）

◆ 展示ルート

調整中（3ルートを設定して会津・南会津地域をリレー方式で実施。

同一パネル3枚作成し、それぞれの会場に展示）

→会津、南会津での展示終了後、中通りでの展示も視野に

パネルの内容

①災害の概要

災害発生時の全体雨量や初動対応、避難状況、災害状況について写真をメインにまとめて掲示

②復旧・復興の現状

災害前後の土木建築物・只見線各橋梁の復旧状況を写真で対比して掲示

現地の方の声（文字）をまとめて掲示

③災害に備える

ハザードマップの読み方、地震・大雨等の災害発生時の心構えなどをまとめて掲示

ツアー 連携候補事業一覧

No	実施者	事業名	概要	予算 (千円)	備考
1	会津若松市	会津線・只見線体験事業	夏休み期間中、会津若松市内の小学校3～6年生を対象に①会津鉄道会津線、②奥会津地域の魅力体験、③JR只見線の乗車体験がセットになったツアーを企画・実施。	444	
2	只見線活性化対策協議会	只見線応援キャラクター「キハちゃん」によるPR活動	「キハちゃん」を使用して、只見線のPR活動を実施。	-	
3	柳津町	只見線活性化事業	トロッコ列車乗車記念PR用あわまんじゅう配布等のおもてなしを実施。	108	
4	金山町	只見線アーカイブ事業	只見線の鉄橋等の復旧状況を定点カメラで定期的に撮影機、町の資料や学習列車の教材としても利用できるようにする。	924	
5	金山町	JR只見線復旧応援事業	「只見線のりおり倶楽部事業」により、待ちのイベントに只見線を利用して訪れた観光客にノベルティ等を配布。	3,000	
6	金山町観光物産協会	ヒメマス寿司販売	ヒメマスで押し寿司をつくり、会津川口駅で販売する。(個数・販売日限定)	-	
7	只見町	JR只見線利用促進等事業	只見線を利活用する活動やイベントの支援。(1事業10万円上限)	2,500	
8	只見町	只見線全線開通(只見-大白川)50周年事業	只見町・魚沼市において50周年事業を実施。(8月28日、29日)	1,000	
9	だんだんど〜も只見線沿線元気会議	只見線全線開通50周年事業	只見町と連携し只見線全線開通日(8月28日、29日)に合わせ各種イベントを開催。	300	
10	だんだんど〜も只見線沿線元気会議	只見線車内プロレスへの協力	福島県・只見町主催の只見線車内プロレスへの協力。	150	
11	只見線再開準備室	「地方創生路線」只見線活用プロジェクト	JR只見線的全線復旧を見据え、会津地域が一丸となって只見線活用計画で位置づけた各プロジェクトを推進する。	64,899	
12	会津地方振興局	JR只見線ARスタンプラリー	JR只見線を機転として地域の魅力を再発見し、郷土愛を醸成しつつ奥会津の歴史文化を学びながら魅力を体験できる取り組みを行うため、沿線町においてJR只見線ARスタンプラリーを実施。	4,512	

シンポジウムの概要（案）

◆ テーマ

奥会津地域おこしの一環として、只見線全線開通50周年記念と令和4年度の復旧工事完了を祈念し、只見線のポテンシャルを再確認し、アフターコロナを見据えた観光誘致など、今後の奥会津と会津地域の振興について議論する。

◆ 内容

- ・内堀知事あいさつ
- ・動画：当時の状況と現在の復旧状況、当時復旧対応に当たった方へのインタビュー、観光資源としての只見線の魅力を伝える等の内容の動画（15分程度）を放映
- ・パネルディスカッション（観光資源としての只見線）（1時間30分程度）

◆ 日時・場所

令和3年8月25日（水）13時～15時30分 於：会津大学講堂

◆ 開催方法

観客を50名程度とし、ネットで同時配信（YouTubeにアップし一定期間視聴可能に）

➤ 動画

当時の状況と現在の復旧状況、当時復旧対応に当たった方へのインタビュー、観光資源としての只見線の魅力を伝える動画等を15分程度放映

➤ パネリスト

高橋延昌准教授（会津短大、ファシリテータ）、JR東日本（調整中）、横山正樹さん（魚沼市）、星賢孝さん（金山町）、酒井治子さん（只見町）、高野武彦会津地方振興局長

パネルディスカッションの内容

- 只見線のポテンシャルと地域振興
- 鉄道を生かした観光誘客
- 奥会津地域での取組
- アフターコロナを見据えた会津地域への観光誘致
- インバウンド需要の今後 など